

願成寺報

平成二十一年一月二十日

〒四四〇・〇八二 豊橋市東新町二十八番地

☎ 〇五三二・五二・九六〇一

最後のページに本年の行事予定を示します
親鸞聖人の七百五十回御遠忌・本堂落慶ほかの大法要について
事情により 前回お示しした日取りから一週間ずれました
力いっぱい法要にしたいと思えます
ご一読いただき、是非、ご予約下さい

■ 報恩講のご案内

左記により報恩講を勤修いたします 今年に聖人の七四七年忌です
改修なった本堂での初めての報恩講です
戸田信行先生にも二年ぶりにお話いただけます
万障お繰り合わせて お誘い合わせにお参り下さい

二月 七日(土) 午前十時 法話 戸田 信行 師

お非時(粗飯準備します)

午後一時半 法話 戸田 信行 師

八日(日) 午前十時 法話 戸田 信行 師

お非時(粗飯準備します)

午後一時半 法話 戸田 信行 師

汁粉

「ご恩について」

百年に一度の大不況の中で、御恩報謝と言うと、また軍国主義とかに利用されそうで少し心配です。ご恩は声高に叫ばれるものではなく、秘かに身の上に感じられてくるものだと思います。

百年前は、子供たちがどんどんと亡くなっていく時代でした。お寺の過去帳は童子・童女でいっぱいです。現代はそのようなことはなくなり、ました。良い時代になった筈ですが、なかなか「幸せだなあ」と思えません。忙しそうに振舞っているうちに、自らを省みることを忘れてしまったからでしょうか？

『私は大きなご恩に支えられてここにある』から出発します。

『私が私である意味は、私が知りうるよりもっと深い』と転じます。

『ご恩に目覚めていくことが、私の生きる意味』となります。

周囲に迷惑をかけてばかりで投げ出したくなります。そんな私にも、ひよっとするとだからこそ、生きる意味があるのでしよう。

それだけを信じて、

思い通りにならないことを覚悟して、

念仏申しながら、

生きていくこと。



「今を誤魔化さない」

大学では物理学を勉強していました。良い学生ではありませんでしたが、そんな私が坊さんをやっています。少し異色なのかなと思います。世間で科学と宗教は相容れないように言われますが、二つを並べて少し考えてみます。

科学は実験から出発して法則を導きます。法則に合わない実験結果が出たとき、まず実験を反省します。ミスがないと分かっていたら既存の法則に挑みます。ケチのつけようがないと思われたニュートン力学について、そのままでは説明しきれない現象を、アインシュタインは特殊相対論にて説明しました。初め反論した科学者たちも、実験をとおして次第にこれを受け入れていきます。そのままの世界を理解するために、現実に学び続けていくのが科学者の態度です。

宗教は経験（人生）を通して、尊さと出会っていくための教えです。そこで説かれる尊さは、私の現実から離れてはならないと思います。思い通りにならないという理由で今を嫌い・目を背け・将来に期待を懸ける、現実から逃げ出す様な教えであれば、宗教としては捨てるべきだと思います。そのままの私を理解し・受け入れ・尊いと目覚めるために経験に学び続けていくのが宗教者の態度です。現実から逃れるために教えを求めるのであれば、その宝物を手にすることはできません。

なのでお念仏の教え・真宗・仏教だけが特別で、他の教えはダメだとは思いません。例えば、「神様にお願いをする」ことは、「頑張るから見えて下さい」と神様に約束をすることだと教えて下さった方がありません。約束により『努力』や『苦勞』がそのまま尊く受け止められてくるのであれば、それは正しいと思います。親しい人をお願い『お百度』を踏む。その人との出会いの尊さがしみじみしてきて涙が溢れる。これも今を受け止めるための有効な方法です。

逆に、「凡庸な私が、受け入れがたい現実と向き合うための教え」は、どれも必然的に似た構造を持つのではないかと想像しています。

阿弥陀仏は『無量光仏』『無量寿仏』の二つの別名を持った仏様です。

私は秘かにこの仏様を『場の仏様』と考えています。

物理学者は光の性質を光子という概念で説明します。光には粒子・波動の相反する二つの性質があり、古典的な理論では説明できませんでしたが、やがて、この二重性を前提とした光子という概念が発見され、量子力学や場の量子論へと発展していきます。物理学者は、世界はどのような二重性を持った素粒子で構成されていると考えています。

私は、命にもこのような二重性があると思っています。一方に、私の命・あなたの命と別々に数えられ、誕生で始まり・生活に八苦し・死で終わる、粒子としての姿が確かにある。しかし他方には、一つ二つとは数えられない、伝わり合うもの、波動としての姿もあるのではないかと想像します。阿弥陀仏は、この命の活躍を保証する形で（場の仏様として）微笑んでおられるような気がします。

伝わり合うものとして命を受け止めた場合、別れた人の努力や苦勞は、たとえその人の上に満足な結果が出なくても、共にあった人の上に尊さを残すと思います。この尊さをご恩として受け止められるかどうか、残された私達にとって肝心な所です。このことに気が付かなければ、私は今ここにある意味は分かりません。

「私はご恩の海を泳いでいるのだ」という風にイメージしてみます。自我（＝煩惱）を灯にして速く・長く・遠くへ泳ぐことを目指します。たとえ思い通りに泳ぎ切ったとしても、私を支えていた海水について発見がなければ失敗です。逆に嵐のなかで溺れそうになったとき、その水そのものに支えられてあったと気づくことが大事です。

「そのために泳ぎ始めたのだ」と覚悟が決まればいいですね。実践は難しいですが、お念仏する時に心懸けたいと思います。

煩惱にまなこさへられて 撰取の光明みざれども

大悲ものうきことなくて つねにわがみをてらすなり

《源信大師和讃より》

（住職 福澤 秀倫）

「ごあいさつ」

私の名前はメイプルです。
トイプードルとコッカスパニエルのミックス犬で、一歳、6 kg です。
生後一ヶ月目からこの家でお世話になっていました。
お婆ちゃんは「メイプル」と呼んで、頭を撫でてくれます。
お兄ちゃんは「お嬢」と呼びます。
毎朝散歩に行く約束したのに、なかなか起きてくれません。
吠えて起こしたりしましたが、最近は諦めました。
代わりに靴下の取りっこをして遊びます。
私は散歩と遊びが大好きです。

お母さんは「メイちゃん」と呼びます。
人間の食べ物は美味しいのに身体に良くないそうです。

長生きするように勉強してくれています。
トリミングもお母さんが係です。

痛い時があるので少し嫌いです。
お父さんは「プー」と呼びます。

美味しいものを沢山くれます。

お父さんはいろいろ悩んでいます。



「家の中で飼うのがよいか、外がいいのか？」

「避妊手術をした方がよいかどうか？」

「長生きするのが幸せか、皆と同じものを食べるのが幸せなのか？」

「幸せの本質が分からなければ、犬を飼うこともできないな……」

悩みはどんどん難しくなっています。

どうなりたいのか尋ねられますが、私は答えません。

代わりに「気楽にしようよ」と鼻をなめてあげます。

私の一番の願いは簡単です。

名前を呼んで下さい、それだけです。

それまでオスワリして待っています。

呼んでくれたら、喜んで、何処へでも駆けて行きます。

皆さんも私を見かけたら、呼びやすい呼び方で、呼んで下さいね。

(愛犬 メイプル)

「弥陀の本願」

寛政二年に本堂が再建されたときの棟札を見ると、施工主・工匠の名の上に書かれたお経文が眼にとまります。往時の先輩諸氏の熱い信心に感動です。御文は「鎮国文」と「阿弥陀佛の本願」ですが、特に本願について調べお知らせ致します。

説我得佛 十方衆生 至心信樂 欲生我國 乃至十念 若不生者 不取正覺

阿弥陀佛は四十八の願を成就し佛になれましたが、十八番目の願が私共を救って下さる唯一の願で「選択の本願」とも云われます。阿弥陀佛は宇宙の佛の師であり、釈尊は二千六百年前に阿弥陀佛に救われ地球に住む者に紹介して下さいました。

釈尊は体験を通して解り易く十八願を「諸有衆生 聞其名号 信心歡喜 乃至一念 至心廻向 願生彼國 即得往生 住不退轉」「すべての人は阿弥陀佛が作って下さった『南無阿弥陀佛』の御心をいただき、しっかりとゲットした一念にて、無始より今日に至るまで苦しんだ無明の闇が晴れ、大安心大満足・無碍の一道に生かされて往く正定聚の身となり、未来永劫変わることはない」と大無量寿経にお説き下さっています。

親鸞聖人は正信偈に「如来所以興出世 唯説弥陀本願海」と、釈尊を尊ばれ、主著「教行信証」に「横超とは即ち、願成就一実円満の真教真宗これなり」「阿弥陀佛の教えは真実の教えで完全無欠の宗教である」と絶讃され九十年の苦渋の御生涯これ一つを説いて下さいました。

この御一流に御縁を頂けた門徒は平生業成、生ある限り教えに随い、不変の幸せを慶びたいと思います。聖語「この身今生に向かつて度せずんば、さらにいずれの生に向かつてかこの身を度せん」が頭をよぎります。「若」の一字を賭けてお約束下さっている阿弥陀佛の御心を棟上に頂き、立派に改修された本堂を皆さんと共に護り、末代まで法悦あふれる殿堂に相続させていただけますよう改めて念じています。

(前坊守 福澤 佳津子)

■平成二十一年行事予定

三月 二十日 (金・祝) 春季彼岸(讚仏会)・永代経法会

仏様の遺徳を讃え 仏を鏡として私を振り返ります

五月 二十九日 (金)

開山聖人七五〇年御遠忌
本堂落慶・当山開山五百年・他

記念法要

九月 二十二日 (火・祝) 秋季彼岸(讚仏会)・永代経法会

仏様の遺徳を讃え 仏を鏡として私を振り返ります

十一月 三日 (火・祝) 高田本山団体参拝

高田本山の納骨堂法会に参拝します
豊橋市内・近郊の高田派寺院と共にバスを借りての日帰り旅行です

◆五月と九月の法要で日にちの変更がありました。ご注意ください。

◆五月の法要は、五〇年に一度の大法要です。

前回は、昭和三十年五月だったようです。

法要は、沢山のお寺さんをお願いして大声量で仏様を荘厳します。

法話は、二十九日が節談説教(話芸式の法話)にて聖人御一代を、

三十日は法話楽団をお願いしています。楽しみます。

稚児行列を三十日(土)午前中に行う予定です。ご参加下さい。

近所をお願いして十分な駐車場を確保します。

詳細は決まり次第ご連絡いたします。

全力で賑やかに勤めたく思います。是非、ご予約下さい。

† 後記 †

○ 最近は、寺で「死んだらどうなるの?」と問う人は少なくなりました。どうせ答えられんと思ってるのでしよう。その通り。

○ お釈迦様もこの疑問には答えなかったようです『無記《箭喻經》』。「余計なことを考えてないで、今できる修行をしなさい」と。受験生のお母さんみたいですね。

○ 「死んだらどうなりたいですか?」なら答えます。これは生きる覚悟への問いです。

○ 「お念仏になりたい」念仏になって、念仏する人を励まします。迷う人の傍で「私にも経験があるよ、辛いね」と。

○ 「どうしたら念仏になれますか?」

○ 「迷っている時にも念仏する」より他にないですね。

○ 「そんなことできませんか?」…無記…

○ 「死んでも命がありますように」

○ 縁起の理は「靈魂はない」と説いています。

○ では、死後の世界もないのでしょうか?

○ 縁起の理を「私を私にした世界がある」と読み換えます。

○ 私が亡くなっても、私の痕跡とこの世界が残ります。それだけ。

○ 不満ですか? 「私」にこだわるのは我執といって、煩惱なのですよ。

○ 痕跡が残るのは怖いですがね。綺麗なものを残せるでしょうか?

○ 鏡を使って自分自身を点検しなければなりません。

○ 頑張って特別に綺麗な鏡を買いました。

○ あんまり鏡が綺麗なので毎日一所懸命に磨いています。

○ おかしいんです。鏡の曇りが気になって、映った姿が見えません。

○ 「馬鹿だなあ」と笑いますか?

○ 鏡は「理想の私」、現実の姿を映すと自分の眼が曇ります。

○ 装飾のない普通の鏡に私を映しました。

○ 懐かしい人が立っていました。

○ 涙が溢れます。「相変わらずの、馬鹿な私でゴメンナサイ」

○ 仏法を鏡にすると、迷いを縁に、誰かに出遇い直すこととなります。

○ その人は、仏様のように輝いて「そのまま」と励まして下さいます。

願成寺報

平成二十一年三月十二日

〒四四〇・〇八二 豊橋市東新町二十八番地

☎ 〇五三二・五二・九六〇一

二ページ以降は親鸞聖人の七五〇年御遠忌・本堂落慶法会の特集です
四月末頃もう一度詳細をご案内させていただく予定ですが
少しずつ盛り上がっていきたいと思います

檀信徒に限らず何方にもご参加頂きたいと思えます
ご一読いただき、是非、お誘い合わせてご予約下さい

■ 春季彼岸・永代経法会のご案内

左記により勤修いたします

万障お繰り合わせて お誘い合わせてお参り下さい

三月 十九日 (木) 午前十一時 晨朝法要のみ

二十日 (祝) 午前十時 晨朝法要・法話

午後一時 日中法要・法話

法話 当山住職 福澤 秀倫

粗飯準備いたします

(二十日のみ)

二十一日 (土) 午後一時半 日中法要のみ

「儀式と法話」

もう数年も昔のことです。

ある先生から「儀式と法話の意義を考えよ」と云われました。
ずっと考えているのですが、なかなか答えが見つかりません。

まだその先生に解答を提出することはできませんが、
今思う、率直な所を書き留めておこうと思います。

儀式の心は、私の居場所への目覚めだと思えます。

「この世界は美しく尊い」を身体・口耳・心で仰いでいきます。
伝承された道具と作法に従って仏様を荘厳します。

儀式のプログラムを差定と云いますが、これを先輩に習い覚えます。
儀式は自分勝手にできない窮屈さでいっぱいです。

「そのことの尊さを受け止める」と強いるのが儀式です。

だから、準備の段階が重要なのだと思えます。

そしてできれば多くの人と協働することが望ましい。

法話の心は、私自身への目覚めだと思えます。

話者も聴衆も違った荷物を背負い、別々の人生を歩んでいるのですが、
不完全な凡夫であるという点では変わりありません。

法話は、自分勝手にしたがる私・凡夫の性質を説くものです。

「その尊さに気付かない自分に目覚めよ」がその内容の全てです。

だから、その人が何をどのように気付き、どのように在るかが重要です。
言葉だけでなく、その姿をしっかりと観察する必要があります。

そして共感できたなら、智が癒され、力を励まされます。

「凡夫だからこそ工夫する余地がある」となります。

…やはり、うまく纏まりませんでした。

難しすぎる宿題を出した先生の本意は、

「結論は出なくてもよい、考え続けよ」なのかも知れません。

「願成寺・御遠忌の歴史」

七五〇年御遠忌の準備はなかなか捗らず、身に余る仕事なように思います。いつそ止めてしまったら楽なのに…等と後ろ向きになります。勇気を持ってこの仕事に向かうために、当山の御遠忌の歴史をたずねます。先輩方の苦勞を偲ぶことで、背中を押してもらおう作戦です。

遠忌年数	年月	(西暦)	住職	出典・証拠
五〇〇年以前	不明			火事により焼失？
五五〇年	文化七年四月	(一八一〇)	源澄	彼岸打敷の裏書
六〇〇年	不明			
六五〇年	大正十二年四月	(一九二三)	諦信	報恩講打敷の裏書
七〇〇年	昭和三七年五月	(一九六二)	秀文	案内状

「節談説教・親鸞聖人御一代記」

聖人は実在の人物ですが、ご生涯を訪ねるのに謎の多い方のようなです。歴史学者は資料の少ないことを嘆いています。懸命に道を求め続けた人だから、資料が少なくても当然かも知れません。逆にだからこそ、その姿に人々は惹きつけられるのでしょう。倉田百三・吉川英治・丹羽文雄・五木寛之など、多くの文学者が小説の題材としています。

五木さんは現在、中日新聞に『親鸞』を連載しています。五木さんには次のような文章があります。

聖人の思想や信仰・ご生涯の姿には、人を救う力があるのだと思います。他人を蹴落とし、弱者を押しつけて生きてきた自分。敗戦から引き揚げまでの数年間を、私は人間としてではなく生きていた。その黒い記憶の闇を照らす光として、私は歎異抄と出会ったのだ。《私訳歎異抄》

聖人の曾孫で本願寺第三世の覚如聖人という方がおられます。

聖人のご生涯を『本願寺聖人親鸞伝絵』に纏められました。

私達はこれを絵と文に分け『御絵伝』『御伝鈔』として親しんでおります。

今回の御遠忌では、『御絵伝』(四幅のお軸)を掛けてお勤めします。そして『御伝鈔』の内容を節談説教にて話して頂きます。

節談説教は、落語・講談などの話芸のルーツといわれています。

真宗では、近世から昭和初期にかけて一世を風靡した説教スタイルです。「五〇年も昔に聞いた物語の一説が、今も耳の底に残っている」という年配の方も多くおられると思います。娯楽の要素もある説教ですが、聖人のご生涯を戴き直したく思います。

説教師プロフィール

日進市 真宗大谷派 本澄寺 柳野 明仁 師

三河スーパ―絵解き座を率いる新座長

愛知万博の大舞台でも講演



「お稚児さん募集」

募集要項

- 募集人数 一〇〇名程度
- 参加費 五千円
- 申込締切 五月十六日（土）
- 行列表当 五月三〇日（土）

檀信徒に限らず 小学生までの男女
衣装・化粧・記念品含む
願成寺までお申込み下さい

八時～ 受付

東新町公民館にて化粧・着替え
混雑します、早めにおこし下さい

十時～ 行列
十二時まで

桜ヶ丘公園（願成寺裏）を出発
東新町公民館にて衣装返却
記念品をお渡し致します

携行品

しごき帯（三尺帯）をお持ちの方は持参して下さい
服装は洋服（シャツ・短パン）でも構いません
履物は履きなれたものをご用意下さい
衣装引き換え券・お供物券をお忘れなく

その他

雨天の場合、行列は中止しますが、衣装を着て本堂にて
お参り頂きます
東新町公民館はイズモ葬祭センター・貴賓館様横です



願うとあれと照らされる日も
願うと照らされる日も降る

● お手伝い頂ける方を募集します

お稚児さんの着替え・誘導係、
お非時の調理・配膳係、
来賓諸兄弟の接待係、
受付・記念品配布係など、
沢山の方のお力が必要です
ご協力いただきますよう、
お願い申し上げます

「法話楽団・迦陵頻伽」

舍利弗よ、極楽浄土にも様々な鳥がいる。これらの鳥が日に六回、時を定めて声を合わせ雅やかに啼くのである。その声はそのまま、道理を信じて精進せよと、悟りへの道を奏でているのである。その土の衆生は聞き終わると、みなことごとく佛法僧の三宝を念ずる心になるのである。

《仏説阿弥陀經・意識》

この鳥の種類の中に迦陵頻伽という名前が見えます。声も姿も美しい鳥のようです。

法話楽団・迦陵頻伽のメンバーも皆、声と姿の美しい人たちです。

いのちの尊さを魂に語りかける

如来から慈しまれていないのちは一つもない

あなたが大切な人です

それが私たちの伝えたいメッセージである 《西脇 顕真》

私は、彼らの美しい音楽と

心地よい声と 尊い話を聞きながら

いろいろなことを考えていました。

美しい世界を美しく思えないのは何故だ？

尊い命を尊く思えないのは何故だ？

大切なことを見失うのは何故だ？

答への代りに涙が出ました。

納得したことだけが全てではない。

納得することと関係なく

この世界は尊くて美しくしい。

涙の中でそんな風に思えました。

法話楽団プロフィール

一色町 浄土真宗本願寺派 普元寺 西脇 顕真 師ほか

ボーカル・ピアノ・ギター他にて

動揺・ポップス・オリジナル曲など歌いながら全国を公演



「開山聖人七五〇年御遠忌・本堂落慶法要 日程表」

平成二十一年五月二十九日（金）

平成二十一年五月三十日（土）

午後一時 日中法要

【法要】阿弥陀経・正信偈ほか

十歳の息子が得度をします

デビュー法会になる？ 上手にできるかな

【節談説教 聖人御一代】

出家得度く法然上人との別れ

午後三時 速夜法要

【法要】文類偈・三重念仏和讃ほか

【節談説教 聖人御一代】

越後、関東時代

午後五時 お非時

報恩講に準じるメニュー（ゴマ豆腐など）

皆さん美味しいと喜んで下さっています

是非ご賞味下さい。坊守も頑張ります。

午後六時 初夜法要

【法要】式文三段ほか

二十人位のお坊さんが大音声で勤めます

二度とない機会となります

是非、お参り下さい

【節談説教 聖人御一代】

帰洛く御往生

午後八時 終了予定

午前十時 庭儀式

【お稚児】裏の公園から行列は出発します

雅楽の楽人さんやお寺さん達に続いて

子供たちが出発します

本堂に着くとスロープを上がって堂内に入り

お参りします

雅楽が響く中でのお参りです

是非、ご参加下さい

雨なら、行列なしでお参りとなります

午後〇時 お非時

おにぎり、味噌汁を中心とした簡単な食事を考えています

雨でなければ境内でピクニック気分？

午後一時 御万座法要

【法要】四奉請・表白・阿弥陀経ほか

沢山のお寺さんたちと共に勤めます

花弁を模したカードを散らす儀式（散華）

があります 運がよければ拾えるかも

もうこんな派手な儀式はやりません

是非、お参り下さい

午後二時 音楽法話

法話楽団・迎陵頻伽

晴れなら、境内にもパイプ椅子を並べます

皆さんに聞いて頂きたいお話です

檀信徒に限らず、

お誘い合わせてご参加下さい

午後四時 終了予定

時刻未定 慰労会

内容未定ですが、ご協力頂いた方たちと

慰労会をしたく思います

● 駐車場のこと

イズモ葬祭センター・貴賓館様のご協力により、駐車場をお借り

できることとなりました 大変ありがたく思います

両日共に駐車いただけますが、駐車台数には限りがあります

できるだけ乗り合わせてお参り下さい